

# 強化委員会報告

## 1. R4 年度大会結果

コロナ禍以降、初めて全大会が中止にならず行われた。東北、全国における本県の競技力の位置づけがコロナ禍以降どのように変わったのか確かめられた1年だった。

概ね、東北大会では苦戦を強いられた。特に男子高校生（少年男子）は、東北高校選手権・ミニ国体・東北高校新人大会での優勝者は3大会でわずか1人、国体出場権も逃した。一方、全国大会では国体成年の部 M 級優勝の鳥谷部選手（拓大＝黒沢尻工卒）を始め、ほとんどの大会でメダルを獲得している。例年通りの遠征や合宿が組めない中、競技力を落としているのは否めないが、全国との戦いにはよく食らいついていっているのではないだろうか。ただし、UJ 選手の底上げにより近隣県のレベルが上がっているため、東北内では相対的に苦戦を強い

られており、今後、国体出場、全国選抜出場が大きな壁になってくるかもしれない。近隣県との交流を図りながら、UJ 選手育成の場も設けていきたい。そのため、今年度より「中学生・高校1年生スパーリング大会」、「及川武史

杯交流大会」「岩手-群馬女子対抗戦」を復活させるべく計画中である。

R5全国大会獲得メダル結果

大会名	金	銀	銅	東北他県獲得メダル数
インターハイ			1	青森1,山形1
全日本マス選手権	1	2		青森7,山形1
全日本女子Jr選手権		1	2	
国体	1			青森4,山形1

今後の強化事業（予定）

事業名	期日	会場
全国選抜前遠征	R5.3/3（金）～5（日）	自衛隊体育学校他
中学生・高校1年生スパーリング大会	R5.3/11（土）,12（日）	水沢工業高校
及川武史杯交流戦	R5.3/11（土）,12（日）	水沢工業高校
第5回岩手-群馬女子対抗戦	R5.3/28（火）～30（木）	渋川工業高校

## 2. R5 年度に向けて

これまで、県連強化委員長と高体連強化委員長が棲み分けしてきたが、実情として少年選手の強化が中心であることから県連と高体連の強化委員長を統合したいと考えている。それにより強化事務も高体連と統合し、顧問が固定配置されている強化指定校（盛岡南、黒沢尻工、水沢工、花巻農）を中心に行っていきたいと思う。

R5 年度は、まずは国体出場権の奪回を第一とし、そのための強化を通し全国で戦う力を身に付けていきたい。R5 年度強化計画（案）を別添に示す。

「やっと日本一を届けられた」 栃木国体ボクシング・鳥谷部選手



激闘を制し、辰柳祐司監督と握手を交わす鳥谷部魁選手（右）＝10日、栃木県日光市・大沢体育館